

## 令和4年度第2回みやぎ観光振興会議仙南圏域会議 議事録

### 1 開 会

### 2 挨拶

### 3 議 事

#### ■ 議事（1）仙南地域広域観光推進プランの総括について

#### 議事（2）第5期みやぎ観光戦略プラン圏域施策の方向性の具体的事業の進捗状況について

※事務局から一括説明（議事（2）の市町の取組については各市町から説明）

#### 【意見等】

（嶋崎委員）

- ・受入制限等を緩和すればインバウンドなど人が増えてくるのは当たり前で、今後きちんと受入していくことが大事。今後はその1ステージ先を見据え、人を集めて安売りしていく施策とは違うものを目指していかないといけない。たくさんの人に来てもらうというのではなく、適正な人数にきていただいて、人材育成をうまく行いながら、事業の生産効率を上げ、客単価を上げていくとよいと思う。

（一條委員）

- ・嶋崎委員の意見に賛同。インバウンドとしてオーストラリア、韓国、香港などから客が来ている。今後、世界で一番観光客が来ているフランスと同水準に日本もなっていくのではないかと。観光産業は非常に経済効果が大きいので、一層力を入れていけば地域経済に影響を及ぼす事ができると思う。
- ・客にどこに行けばいいかと聞かれることが多いので、スタッフには今何がおすすめなのか、地域に誘導するようにしている。柴田町の花や村田町のSUGOの取組など参考にしたい。
- ・人材不足の問題はあり、国の働き方改革で労働時間を守らなくてはならないので、スタッフの数は倍必要だが、賃金の上昇や最近の物価高で仕入れも上がっており、経営が大変である。宿泊単価を上げて、効率化を図っていくことが重要。人材育成の前に人が確保できるかどうか。首都圏と同じくらいの給料が払えないと、若い人は移住してこないで、そういったことを実現できるような取り組みを行っている。

（大宮委員）

- ・我々も乗務員不足は大きな課題であり、昨今大きな事故があり、配慮しているところ。人材の育成にも時間がかかるがこれを乗り越え、安全第一を基本として、地域の公共交通に貢献していけるよう事業を継続していけるよう努力する。
- ・蔵王山麓線を実証的に運行しているが、ウィズコロナの関係から外国人の乗車が増えている。冬になるとキツネ村のキツネの毛並みが良くなり見所となる。昨年も1～2月の乗車が多かったが、今年は昨年よりも外国人が増えていくのではないかと。遠刈田温泉の方は、思ったより実績が出ていない。もっと活用してもらいたいので情報発信を蔵王町にもしていただければと思っている。
- ・来春あたりから仙台駅からの定期観光バスを復活させたいと考えており、準備を進めている。こういったものを活用いただきながら、各自治体のイベント等と密に連携をとりたい。
- ・まずはアクセス、インフラを整備することで、人の入込を考えるベースとしたいので協力をお願いしたい。

(小野寺委員)

- ・コロナが落ち着いてきている状況で、客は前と同じくらい戻ってきている。観光客と思われるのは土日祝日の話であり、平日はお昼や夕方など特定の時間帯に限られ、地元の方に来ていただいていると思われる。
- ・人材の話になるが、土日祝日は人が足りず、それに対応する人数を確保してしまうと平日はどうしようかとなってしまう。就労環境としては通勤 30 分圏内の仙台で仕事を探す傾向があり、アルバイトも通勤手段の関係で見つかりにくい。コロナ以降、安定志向を感じており、パートやバイトではなく、フルタイムでの採用を希望する方が多い。毎日食べてもらえる豚肉の提供を理念とするため、販売単価を簡単に上げられず、賃金や物価の上昇分をカバーできず苦労している。デジタルを活用しながら、できることはやっていきたい。
- ・各市町の発表で体験型が多いと思い、うちもやりたいが人手が足りず、難しい。地元の農家は高齢化が進んでおり、なかなか一緒に手を組んでやるのが難しい。どこかと連携して実施できたらと思うが、どこならできるかという情報がないため苦慮している。体験型はインバウンド含めて需要があると思うので、こういった観光の会議に農業や教育の人がいないのがどうしても納得がいかないところなので、様々な分野の方が集まるような機会を設けてもらえたらと思う。

(藤野委員)

- ・客を取り戻すというよりは、獲得することを基本に取り組んでおり、まず取り組んだのは外でのイベントと趣味性の高いもの。
- ・外でのイベントでは、町内会との取り組みで鯉のぼりをあげたり、ドッグランを整備し、犬のイベントを実施。趣味性が高いということではスーパーカブのイベントを実施したり、道の駅かくだ育ちのキッチンカーをとということで、今では常に5～6台集まるようになってきた。そうした取組により、客数は昨年比127%になっており、これは戻ってきたというより獲得したものだと思っている。また、リピーターも増えていると感じている。
- ・客単価については、儲からない玉を減らすということで、メニューを見直し、単価も上げた。幸いヒット商品も出て、そういったところで従業員にフィードバックできるかなと思っている。このように視点を変えて改善をしていく取組は、市や仙南圏域にも通じるものだと思う。

(村上委員)

- ・道の駅は昨年比20%減少だったが、コロナ前からみると落ち込みではあるが、今年は4月から5%くらいずつ伸びている。ETC2.0対象で立ち寄り可能になったことから、他県ナンバーやキャンピングカーなどが増えていると思う。宿泊割を利用している方も多いため、人が戻ってきていると感じる。
- ・安いのではなく品質がきちんとしていれば、客は買い求めると思っている。生産者から直接納品をしているが、生産者も品質が良ければ売れると分かっており、品質には注意していることが見受けられる。

(遊佐委員)

- ・乗降客は前のように戻ってきてはいない。1日最大千人ちょっとで、インバウンドが戻り切れていないのが現状かと思うが、10月から徐々に増えてきているとは思う。久しぶりに第2四半期は黒字。
- ・チケットレス化をすすめており、12月からはえきねっとで東京圏から150km範囲の駅までのチケット（往復）にJREポイント6,000ポイントが当たる企画「どこかにビューン！」が始まる。それで白石蔵王駅に来た客を仙台ではなく、仙南でいかに周遊していただくかが今後の課題だと思う。今後地域と協力しながら、親しみやすい駅作りに努めていきたい。

(横山委員)

- ・以前、関東圏からお客様を呼ぼうと、あぶくま駅から出発する舟下りを再開し、全国にPRするHP等も作ってやってみたが不発。団体客ではなく個人客を呼び込もうとしたがそれでも難しい。
- ・夜に舟下りを運航するナイトリバークルーズは、鉄橋のあたりで止まって夜空を見ながら、停泊している時に通過する阿武急が銀河鉄道のような素晴らしい景色を見ることができる取組で、毎週土曜日に運航している。お客様の評判も上々で、日中の舟下りに良い効果が出ている。マスコミに大きく取り上げていただき、去年の乗船数を大きく上回っている。

(渡部委員)

- ・コロナ禍で人気だったキャンプ場は横ばいであまり伸びていない。廃校利用したおたては旅行支援が始まって期待通りではなく、宿泊割は高級旅館に活用する客が多いようでグリーンツーリズムには使われていない。
- ・人材不足という点では、皆様のところに人材が来ないのであれば、七ヶ宿に来ないのは当然。キャンプ場の人不足、バイト代を上げたら、しっかりと人材が来てくれ、やはり雇用するためには給料を上げないと難しい。
- ・七ヶ宿町は車や除雪、暖房代など都会並みに生活にお金がかかるので、相応の給料でないと働いてくれない。単価や満足度を上げることで誘客に繋げていきたい。

(志賀委員)

- ・夏から秋にかけて、様々な市町のイベントに参加し、3年ぶりといったイベントが多く、参加者からやはりこういったイベントはいいよねという声や人々の明るい笑顔を見て、人を呼び込むという観光施策の重要性を実感した。
- ・特に、蔵王町で開催された火山砂防フォーラムでは、防災が趣旨のイベントであったが、蔵王高校の「蔵王を地域の資源としてどのように活かしていくべきかを町の皆さんと一緒に企画したジオパークツアーや全校上げての取組の様子についてのプレゼンテーション」が、メインテーマを食ったような素晴らしいもので印象深く、画期的なフォーラムだった。ジオパークの取組については、県としても町を積極的にバックアップしていきたい。
- ・各市町からいろいろな取組の説明があったが、個々の取組だけでは頭うちになってしまうので、広域的な共通のブランドやテーマで、地域の皆さんの力を結集していく取組をしていかないとけないと思う。ガーデンツーリズム、サイクルツーリズム、トレッキングなど、各市町が持っている大きな資源を結集し、広域的に練り上げて来年以降展開していけたらと考えている。

(宮原委員)

- ・コロナが落ち着いて、各市町さんや皆さんの取組を聞いて前進していると感じた。
- ・白石市の城、角田市や七ヶ宿町、丸森町のグリーンツーリズム、村田町のSUGO、川崎町の支倉常長、町の中の資源を観光に活用していく取組は面白い。また、SNSを活用して上手に発信している。
- ・柴田町が中心となりガーデンツーリズムなど広域の取組を行っているが、なかなか仙南の一体感が見えてこない。仙南の素晴らしいものをみんなが一緒になって発信していかななくてはならず、誘客していくための戦略として、圏域を考えていく必要がある。
- ・また人手不足の問題について、観光事業に携わる人が減っているため、なかなか戻ってこないところだと思う。観光プランではこういった人手不足の問題は挙げられていなかったと思う。人数と仕事に見合った単価の問題、担い手の確保問題を乗り越えていき、人を呼び込む流れを作らなくてはならない。
- ・圏域、県の行政として、お客様を呼び込むための人材を確保するという施策をやってほしい。人の手当てに関わる支援について、緊急にでも検討してもらえるといいかなと思う。

■ 議事（3）令和5年度の観光人材育成の取組について ※事務局から情報提供

（事務局）

- ・今後人材確保についても検討していく。

【意見等】

（小野寺委員）

- ・先ほどの蔵王高校の話聞いてみたいと思った。新しい高校開設になり、観光教育といったところもあると思うので先生の話を含めて聞いてみたい
- ・ブランディングがメインかなとは思いますが、観光資源の掘り起こしのやり方について、成功例、失敗例なども聞けるとよい。

（一條委員）

- ・人材不足と点では、学生がもっとバイトから雇用に繋がる可能性もあり、今後、学校と地元の企業が繋がりを作れるようなことが出来るとよい。
- ・観光と地域の連携として、地域のいろいろなイベントなど「今はこれがいい！」とみんなでPRしていけるような仕組みができるとよい。仙南全体で一緒にイベントを広報するのも効果的だと思う。

■ 議事（4）圏域のキャッチコピーのデザインについて ※事務局から情報提供

【意見等】

- ・ロゴとキャッチフレーズを組み合わせて…というところだが、私個人としてはもうちょっと工夫して欲しかったというところ。
- ・難しい。ロゴの中に文字が入ってしまうのはどうかと思うので、ロゴはロゴ、文字は文字にしたほうがいいのではないか。
- ・活用の想定は、シールやバナー、のぼり旗など。
- ・もう少し継続して検討してはどうか。

→引き続き継続して検討することとした。

■ 議事（5）みやぎ蔵王三十六景地域の逸品の推奨について ※事務局から情報提供

【質問・意見なし】

→4品目について推奨承認された。

■ 議事（6）その他

観光政策課及び観光プロモーション推進室より情報提供。

4 その他

特になし

5 閉会

（以上）